

平成30年第1回定例会 一般質問通告一覧表

氏名 (受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 蜂須賀千雅 2月2日 8:30	1	大雪の際の対策について	① 平成30年1月22日の大雪の市内の被害状況と除雪対応について ② 除雪の課題と、市民からの要望について ③ 効果的な除雪方法や、大雪の際の安全対策についての市民への情報提供について
	2	落ち葉清掃における美化活動について	① 市内の道路街路樹や公園樹木、国・東京都の公用地の樹木などの落ち葉の管理や清掃作業の現状・課題・取り組み状況について ② 市民からの要望について ③ 市民との協働による腐葉土化の取り組みについて
	3	都営向原団地創出用地について	① 平成29年第4回定例会以降の進捗状況について ② 今後の都営向原団地創出用地への東大和市の対応について
2. 根岸 聡彦 2月2日 8:31	1	スポーツに対する取り組みについて	① 東大和市生涯学習・生涯スポーツ推進計画について ア 今までの取り組み内容と成果は イ 東大和市が目指す姿と現時点における課題は ② 第51回市町村総合体育大会について ア 大会の概要、スケジュールは イ 東大和市の役割と、実施に向けた取り組み状況と課題は
	2	ごみ行政について	① 東大和市一般廃棄物処理基本計画について ア 計画当初からの取り組みに対する評価は イ 計画の遂行状況及び現時点での課題は ② ごみ処理の将来について ア 今後、更に取り組んでいこうとしている施策は イ 市が描くごみ行政における将来像と実現に向けた課題は
	3	行政改革について	① 東大和市の行政改革の変遷について ア 行政改革に取り組んできた推移は イ 現在、未来に対する行政改革の目的は ② 行政改革の成果について ア 行政改革を進めてきたことによるメリットは イ 今後行政改革を進めていく上での課題は
3. 大后 治雄 2月2日 8:46	1	生産緑地と宅地について	① いわゆる生産緑地の2022年問題と税制について ア 生産緑地の2022年問題とは何か。 イ 市の現状は ウ 他自治体の対応は エ 課題と今後の展開は
4. 和地 仁美 2月5日 16:20	1	食育について	① 東大和市の取り組み方針は ② 現状について ア 各学校の取り組みは イ 学校以外の取り組みは

<p>(和地 仁美)</p>	<p>2</p>	<p>緑のまちづくりについて</p>	<p>③ 新学校給食センター稼働によって変化したことは</p> <p>④ 食育を充実することによる効果についての認識は</p> <p>⑤ 課題と今後の対応について</p> <p>① “緑のまちづくり”(街の緑化、都市づくりなど)について、市が策定している関連する計画などにはどのようなものがあるか。 また、それらに関連する市の内部の部課や他の組織にはどのようなものがあり、協力体制の現状は</p> <p>② 緑のまちづくりを推進することで得られる効果についての認識は</p> <p>③ 目標に対する課題と対応について</p>
<p>5. 上林真佐恵 2月8日 8:33</p>	<p>1 2 3</p>	<p>学童保育所について</p> <p>東大和市子ども・子育て支援事業計画中間見直し(素案)について</p> <p>子育て支援について</p>	<p>① 「放課後子ども総合プラン」に基づく東大和市の行動計画について、取り組みの進捗と課題は</p> <p>① 取り組みの進捗と課題は</p> <p>① 子ども食堂への支援について ア 市内の子ども食堂の現状とこれまでの市の取り組みについて イ 東京都の補助金を活用した新たな支援策や、他市を参考にした取り組み等、課題について</p> <p>② 給食の無償化について ア 市の認識と他市の状況は イ 今後の課題について</p> <p>③ 児童扶養手当の毎月支給について ア 平成29年3月以降の国や東京都の動きについて イ 市の取り組みと課題について</p> <p>④ 就学援助について ア 小中学校の入学前支給への取り組みの現状と課題について イ 制度のさらなる充実など今後の課題について</p>
<p>6. 実川 圭子 2月8日 8:46</p>	<p>1 2</p>	<p>介護予防・日常生活支援総合事業について</p> <p>若者の心の健康づくりについて</p>	<p>① 要支援1・2の認定を受けた方のサービス利用状況を伺う。</p> <p>② 緩和型サービスの実施状況と課題は。また、認定ヘルパーの育成と活動状況は</p> <p>③ ボランティアやNPOなど住民主体による支援の実施状況と課題は</p> <p>④ 短期集中予防サービスの実施状況と課題は</p> <p>① 若者の心の健康について、市民の健康に関する意識調査の結果をどのように評価し、対策を行っているか。</p> <p>② 若者の自殺予防としてどのような対応を行っているか。</p> <p>③ 自尊感情を高めるための取り組みについて</p> <p>④ 中学校でカフェ事業を行うことについて</p>

<p>7. 中野志乃夫 2月8日 9:13</p>	<p>1</p>	<p>市内を走る各種公的なバスの連携を図ることについて</p>	<p>ちよこバス、はあ〜とふるでの送迎バス、市民体育館での送迎バス等について、それぞれの用途、目的は異なるが、高齢者や障害者ら交通弱者と呼ばれる人たちの交通手段として活用や連携は出来ないか。</p>
	<p>2</p>	<p>市有地の活用について</p>	<p>未利用の市有地はどの位あるのか。暫定的に活用されている市有地の場合、どのような活用のされ方をしているのか。</p>
	<p>3</p>	<p>障害者施策に関して</p>	<p>みのり福祉園を総合福祉センター はあ〜とふるに移行させて、どの位の経費削減が図れたのか。</p>
	<p>4</p>	<p>専門職員の確保と待遇について</p>	<p>市民の要望やその対応について、年々専門性が問われる中、地方公務員法の改正により非常勤職員などの待遇が変わることになる。当市としては専門職員の確保をどのように図るつもりか。</p>
<p>8. 尾崎 利一 2月8日 9:17</p>	<p>1</p>	<p>桜が丘市民広場の整備について</p>	<p>① 冬季は午後4時までしか利用できず、平日は児童・生徒の放課後利用が不可能になっている現状について改善を求めてきました。前議会では、TOTO補助やオリンピック・パラリンピック補助などを活用すれば、ほぼ市の負担なしで準夜間照明を整備できると提案しました。その後の調査・検討状況について伺います。</p> <p>② 防球ネットが一部低くなっているため、ボールが桜街道などに飛び出して危険な事例があると聞きます。市の現状認識と対応、対策について伺います。</p> <p>③ バリアフリー化工事の概要と利用団体等からの要望、実施にあたっての問題点などについて伺います。</p>
	<p>2</p>	<p>国民健康保険の広域化に伴う6年連続の保険税大幅値上げなどの諸問題について</p>	<p>市は、今年4月から6年連続で国民健康保険税を値上げし、1.4倍化しようとしています。国民皆保険制度を脅かすものであり、値上げすべきでないと考えますが、以下伺います。</p> <p>① 国保会計の現状と展望について、また市の取り組みについて、市の見解を伺います。</p> <p>② 国保加入世帯の暮らしの実態、負担能力についての市の見解を伺います。</p> <p>③ 6年連続で国保税を値上げし、1.4倍化するというのは、医療を受ける権利そのものにかかわる「大改革」です。これだけの「大改革」にふさわしいプロセスを踏んでいるとは思えません。市の認識を伺います。</p>
	<p>3</p>	<p>国・都・市有地の活用、とくに特別支援学校、特養ホームなどの福祉施設、スポーツ施設の整備・拡充について</p>	<p>市内には未利用の国有地が約3万㎡、未利用の都営団地建て替えに伴う創出地11.5万㎡の他に保育園用地として4か所が改めて示されました。市の未利用地としてはみのり福祉園跡地と2つの学校給食センター跡地を合わせて約7千7百㎡です。福祉の向上に役立てるべきです。</p> <p>① 現在の到達点とこの間の推移、市の取り組みについて伺います。</p>

<p>(尾崎 利一)</p>	<p>4</p>	<p>第7期介護保険事業計画について</p>	<p>① 第6期計画に比べても事業計画が具体性に乏しいと思われます。市の認識と今後の取り組み・課題について伺います。</p> <p>② 保険料値上げ計画のほうはとても具体的です。市民の暮らしの実態からみても値上げすべきではないし、また、値上げは避けられると考えますが、市の見解を伺います。</p>
<p>9. 関田 貢 2月8日 11:55</p>	<p>1</p>	<p>東大和市のまちづくりについて</p>	<p>① 立川都市計画による再開発誘導地区を市の計画とどのように整合性を持って、実現されようとしているのかお伺いいたします。</p> <p>② 都市計画道路について ア 都市計画道路は幹線街路が9路線あり、昭和36年に決定されて以来、57年が経過しており、計画的な整備をしていくためには、市の計画は何年度で終了になるのかお伺いしたいと思います。 イ 事業を促進するためには、市民の協力について、どのようにされているのかお伺いいたします。 ウ 新青梅街道の芋窪地区の拡幅事業の進捗状況についてお伺いいたします。</p> <p>③ 西武鉄道の敷地開発で、過去には駅ビル計画等が発表され中止になりましたが、現在、計画については検討されているのでしょうか。</p> <p>④ 商業ビジョン報告書の3核7拠点構想が発表されて以来、行政は地元商店街の活性化について、どのように努力してきたのかお伺いします。</p> <p>⑤ 信号機の設置について ア 新堀3丁目のゆりのき通りの所をどのように検討されているのか。 イ 芋窪地区の東大和武蔵村山線の信号機が見づらいことについて</p>
<p>10. 佐竹 康彦 2月8日 17:11</p>	<p>1 2</p>	<p>向原地区都有地の活用について</p> <p> B I D制度を活用した街づくりについて</p>	<p>① 向原団地の北側創出用地を活用した都立特別支援学校建設へ向けた話し合いについて ア 現状の話し合いの進捗状況はどうなっているのか。 イ 平成29年12月28日に議員へ情報提供をされた「都立特別支援学校建設に係る仮要望事項」に関する市の考えを伺う。 ウ 特別支援学校建設に関する市の見解について伺う。</p> <p>② 向原団地の南側創出用地の活用について ア 現在の東京都との話の進捗状況はどうなっているか。 イ 南側創出用地の活用に関する市の見解について伺う。</p> <p>① 地域活性化の手法として注目を集める「ビジネス改善地区(B I D=Business Improvement District)」制度について ア どのような制度であると市は認識しているのか。 イ 国の動向はどのようになっているのか。 ウ 他自治体での先事例には、どのようなものがあるのか。</p>

<p>(佐竹 康彦)</p>	<p>3</p>	<p>子育て世代や若年世代に対する住宅支援及び定住支援について</p>	<p>エ 東大和市としてこの制度を活用することについて、市の見解を伺う。</p> <p>① 子育て世代の住宅に関して ア 現在、東大和市における子育て世代への住宅支援施策について、どのようなものがあるのか。 イ 子育て世代の住宅支援をすることによる当市へのメリットはどのようなものがあるのか。 ウ 他自治体の事例として、例えば甲府市では空き家を活用した子育て世代の住宅施策として「空き家改修助成制度」や「子育て世帯等家賃助成制度」がある。こうした事例を参考に、当市としてどのような施策が取れると考えられるのか。</p> <p>② 若者世代の居住・定住について ア 学生や独身の社会人等若い世代に対する居住・定住支援施策について、どのようなものがあるのか。 イ 学生等若い世代に対する居住・定住支援をすることによる当市のメリットはどのようなものがあるのか。 ウ 他自治体の事例として、例えば海老名市では「若者（学生）定住促進家賃補助事業」「奨学金等返還補助事業」がある。こうした事例を参考に、当市としてどのような施策が取れると考えられるのか。</p>
	<p>4</p>	<p>福祉タクシー券の交付と利用について</p>	<p>① 現状の福祉タクシー券の交付と利用のあり方はどのようなものか。 ② 利用者から、利用に関する改善要望などはあるのか。あるとすれば、どのような事項なのか。 ③ 交付受付時期や広域移動について ア 当市の現状はどのようなものか。 イ 他自治体ではどのような取扱いになっているのか。 ウ 交付時期や広域移動に関する市としての認識と今後の取り組みについて伺う。</p>
<p>11. 木戸岡秀彦 2月8日 17:13</p>	<p>1</p>	<p>ゴミ対策について</p>	<p>① 多摩湖周遊道路周辺の不法投棄対策について ア 現状の取り組みについて伺う。 イ 貴重な財産である狭山丘陵に長年にわたり、不法投棄が続いています。環境保全のため、根絶に向けたアクションプランを策定し、取り組むべきと考えるがいかがか。 ② 志木市で取り組んでいるごみ減量のための、落ち葉銀行の設置はできないか。</p>
	<p>2</p>	<p>特定健康診査・特定保健指導率の向上について</p>	<p>① 特定健康診査の受診状況について伺う。 ア 受診率向上のための取り組みについて伺う。 イ 受診者に東大和元気ゆうゆうポイントの付与はできないか。 ② 特定保健指導の受診状況について伺う。 ア 受診率向上のための取り組みについて伺う。 イ 受診率が少なくなっていると聞いているが、有益な情報サービスを広く広報するべきであると考えられるがいかがか。</p>

(木戸岡秀彦)	3	市報の配布について	① 全戸配布について ア 市民サービス向上のため早期に実施していただきたいと思うが市の見解を伺う。
	4	部活動の取り組みについて	① 各学校の部活動の状況について伺う。 ア 部活動を行うための基準について イ 生徒が希望する部活が学区内にない場合、学区内に外部指導員の配置はできないか。 ② 部活動で生徒、団体が成績優秀により大会（関東・全国）に出場する場合、部活動に激励費を支給できないか。
	5	小中学校の熱中症対策について	① 当市の熱中症対策の取り組みについて伺う。 ② 熱中症から子どもを守るため、小中学校の体育館に熱中症を計測する熱中症計を設置できないか。
	6	老人クラブについて	① 当市の老人クラブの現状について伺う。 ② 補助金の規定及び用途について ア 補助金を一律ではなく、会員数に応じて配分することはできないか。 ③ 近隣他市の状況について伺う。
12. 東口 正美 2月8日 17:14	1	質の高い健診による重症化予防と医療費削減の取り組みについて	① 生活習慣病の重症化予防のこれまでの取り組みの成果と今後の課題について伺います。 ② 市民が今まで以上に生活習慣病の予防に取り組めるよう、市ではどのような事を考えていますか。 ③ 市民が健康を考えるために、より質の高い健診による詳細な結果の提供は有効な方法だと考えます。そこで、以下の検診に対する市の考えを伺います。 ア 微量アルブミン尿検査について イ 推定食塩摂取量検査について ウ 体組成計を用いた体重測定について
	2	防災フェスタを利用した日常生活の防災対策の強化について	① 「防災フェスタ」について伺います。 ア 目的とこれまで行ってきた内容について イ これまでの成果と課題について ウ 今後の取り組みについて ② 災害時の自助を啓発・強化するためのどのような取り組みが考えられますか。講演会の開催など検討したことがありますか。 ③ 女性の視点、生活者の視点をいかした取り組みについて ア これまでの取り組みは イ 自宅での避難に備える啓発・対策強化のためにできることは
	3	市庁舎にも求められる安全性・利便性・市民サービスについて	① 市庁舎内の安全性や利便性に対する市の認識について伺います。 ② 業務内容や業務量の変化に伴う庁舎内部のレイアウトの変更をどのように考え、行ってきましたか。 ③ 窓口業務について ア 現状の課題にはどのような事がありますか。

(東口 正美)			<p>イ 子育て世代、高齢者、障害者により快適な対応をするための考えは ウ マイナンバー制度やICT化による変化への対応についての考えは ④ 庁舎内のリニューアルについて、他市の事例（神奈川県海老名市）を参考に、当市の考えを伺います。</p>
<p>13. 荒幡 伸一 2月9日 10:00</p>	<p>1 2 3 4 5</p>	<p>セルフメディケーションの推進について 祖父母等の積極的な孫育てについて 高齢者の生きがいづくりについて 地消地産の推進について 大雪による除雪対応について</p>	<p>① 平成29年1月1日から新しく運用が始まった、医療費控除の特例であるセルフメディケーション税制の目的や効果、対象者や受けるための条件について ② セルフメディケーションと医療費控除との違いや比較について ③ セルフメディケーションの理解を広げるための今後の事業の展開について ① 共働き夫婦にかわって祖父母が育児を担う機会が増えているが子育てに関する世代間のギャップ、さらにはトラブルなどの対応について ② 孫育てに関する相談体制や窓口について ③ さいたま市祖父母手帳を参考に、育児をする人に正しい知識を身に付けてもらい、かかわりやすくするための「祖父母手帳」の導入について ① 新潟県の燕市吉田地区では、還暦から数えて20年の満80歳に2度目の成人式を祝う「熟年成人式」を行っているが、当市でも同様の取り組みができないか。 ① 東大和ブランド商品の開発について ② 全市区町村、新旧大和の名産品のコラボレーションや共同開発等による、仮称「大和づくし」の推進について ① 本年1月の大雪による除雪対応の内容について ② 災害時における道路施設等の応急対策業務に関する協定に基づく、協定締結団体である東大和建设同友会への除雪作業の要請について ③ 東大和建设同友会から提案された、危機管理会議の開催状況について ④ 消防団や自治会との連携について ⑤ 自助・共助のために各自治会用の備蓄として融雪剤を準備することはできないか。 ⑥ 自治会で除雪業者を要請した場合の補助金制度の制定について</p>
<p>14. 中間 建二 2月9日 10:02</p>	<p>1</p>	<p>多摩都市モノレールの延伸に向けた取り組みと地域振興策について</p>	<p>① 多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面への延伸について ア これまで、どのような取り組みを行ってきたのか。 イ 延伸が実現した際に、当市にどのような影響があると想定しているか。 ウ 延伸路線周辺のまちづくりについて検討しているか。 ② 上北台駅の位置づけについて ア 起点駅としてどのようなメリットがあるか。</p>

<p>(中間 建二)</p>	<p>2</p>	<p>東大和市駅周辺のまちづくりについて</p>	<p>イ 通過駅となった場合に、どのような影響があるか。 ウ 狭山丘陵への観光の入り口として位置付け、駅の名称の変更や観光情報の発信、レンタサイクル等の拠点として整備していくことは検討できないか。</p> <p>① 当市の玄関口に相応しい整備のあり方について、どのような検討が行われているのか。 ② 以下の課題について、どのような対応がなされているか。 ア 駅前交番の設置 イ 駅前トイレの改修 ウ 三井住友銀行東側交差点の右折信号の設置 エ 電線の地中化 オ 都市計画道路3・4・17号線の整備 カ 桜街道の歩道の安全対策 キ 南街6丁目のU字溝からL字溝への改修 ク 民間施設との連携による観光振興</p>
	<p>3</p>	<p>市民の健康寿命の延伸を図るための事業展開について</p>	<p>① 今後、重点的に取り組んで行こうとしている施策は何か。 ② 健康ウォーキングマップの活用状況と今後の事業展開についてどのような検討を行っているか。 ③ 坂戸市葉酸プロジェクトを参考に、食を通した総合的な健康づくり施策の推進について、検討できないか。</p>
<p>15. 二宮 由子 2月9日 10:04</p>	<p>1</p>	<p>男女共同参画社会の推進について</p>	<p>① 第二次東大和市男女共同参画推進計画（改訂版）平成28年度年次報告書について ア 自己評価の低い事業に対する認識は イ 男女共同参画相談窓口の充実は ウ 男女共同参画推進拠点の整備は エ 市民への啓発等の具体的な取り組みは オ 東大和市男女共同参画推進審議会の答申への対応は カ 今後の課題は ② 「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」の活用について ア 現状及び対応は イ 女性防災リーダーの育成は ウ 他市の状況は エ 今後の課題は</p>
<p>16. 中村庄一郎 2月9日 11:07</p>	<p>1</p>	<p>観光について</p>	<p>① 東大和市の観光についての現状と今後の課題について ② 東京2020オリンピック・パラリンピックに関係する現状と今後の課題について ③ 国や東京都の事業等や補助金等の現状と課題について ④ 市内の連携の現状と今後の課題について（商工会、JA東大和、その他）</p>
	<p>2</p>	<p>教育について</p>	<p>① 学校教育の現状と今後の課題について（不登校、虐待、学力・体力の低下など） ② 社会をたくましく生き抜く人材の育成について ③ 東大和市の学校経営についての現状と今後の課題について</p>

(中村庄一郎)			<p>④ 地域との連携、協働について（学校、家庭、地域や社会のそれぞれの役割や相互の連携について）</p> <p>⑤ 特色ある教育活動について</p>
<p>17. 森田 真一 2月9日 11:59</p>	<p>1</p> <p>生活保護制度の改正による諸制度への影響と制度の周知と改善について</p> <p>2</p> <p>障害者の福祉施策について</p> <p>3</p> <p>都市農業の振興強化について</p>	<p>生活保護制度の改正による諸制度への影響と制度の周知と改善について</p> <p>障害者の福祉施策について</p> <p>都市農業の振興強化について</p>	<p>政府は、生活保護制度の改正案を示しました。これによる市民生活への影響や制度運用の改善について伺います。</p> <p>① 被保護者への影響について</p> <p>② 関連する他制度への影響について</p> <p>③ 窓口での説明書・申請書の取り扱いについて</p> <p>④ 就労支援促進計画における生活保護廃止の目標設定について</p> <p>⑤ ケースワーカーの専門性を高めるための研修体制について</p> <p>東大和市障害者総合プラン案が発表されました。障害者福祉施策の現状と課題について伺います。</p> <p>① 本年4月から、障害者雇用の法定雇用率の引き上げと適用対象事業所の拡大、新たに精神障害者も対象に加わることとなります。市内事業所への周知はどのようにされるのですか。</p> <p>② 「共生型サービス」の創設は、福祉・介護・看護などの人材不足の解消策として複合的なサービス提供とボランティアの動員という安上がりな人員体制でニーズに対応するという考え方が基本にあるとされ、内容も政令にゆだねるところが多いことから、法制定時より当事者・関係者から疑問の声が出されています。</p> <p>現在でも、65歳以上の障害者は介護保険優先適用により利用料負担が課されていますが、共生型サービスの創設は全年齢にその対象を押し広げるおそれがあり、2010年に障害者自立支援法違憲訴訟団と国とが交わした「基本合意」による「応益負担の廃止」の約束を反故にするものではないかという批判がされています。</p> <p>約束を反故にしないために市はどのような内容にしていくことが望まれると考えているのか見解を伺います。</p> <p>③ 就労継続支援B型事業所の施設更新の時期に差し掛かっています。財政的な余裕がなく運営してきたこれらの事業の維持を当事者任せだけにしておけば既存のサービス提供量の確保が困難になる恐れがあり、様々な支援が求められます。新計画案での見通しについて伺います。</p> <p>都市農業振興のため生産緑地の面積基準が緩和され、当市でも従来の500平方メートル以上から300平方メートル以上へと変更されます。現状と課題について以下伺います。</p> <p>① 該当する300平方メートル以上500平方メートル未満の農地は、市内農地全体のどれ程を占めるのか。</p> <p>② 相続等による農地の減少を予防するための税制上の措置や農地の利用についてどのような支援が可能かまた課題を伺います。</p> <p>③ 農地の福祉施策的な利用や福祉作業所などを活用した農家支援策などいわゆる「農福連携」施策</p>

<p>(森田 真一)</p>	<p>4</p>	<p>雪害について</p>	<p>の課題を伺います。 ④ いわゆる「2022年問題」への対処について伺います。</p> <p>平成30年1月22日、東京で4年ぶりの大雪警報が出され20センチメートルを超える積雪がありました。近年、当市でも市民の高齢化などにより従来のように自力で除雪ができず、除雪中の事故や歩行者の転倒事故などに繋がるケースが散見されます。市民からも何らかの支援を求める声が聞かれます。現状の把握や支援の必要性についての市の認識を伺います。</p>
	<p>5</p>	<p>市内の木造住宅密集地域の不燃化・耐震化について</p>	<p>東京都は木造住宅密集（木密）地域の不燃化・耐震化には742億円、建築物の耐震化には268億円をそれぞれ配分する。木密地域からの転居を促すため、都有地に民間の賃貸住宅などを整備し、対象者の受け皿とする新たな事業の検討などに入ると報道されています。市内の木造住宅密集地域の不燃化・耐震化への影響があるのか伺います。</p>